

## 2020年9月 ジャオサロン予定（オンライン開催）

日時： 9月27日（日） 午後3時  
オンライン開催

テーマ：「コロナとシンギュラリティ」

講師：松田 卓也先生（まつだ たくや） 神戸大学名誉教授、宇宙物理学者で元日本天文学会会長

松田先生は宇宙物理で著名な研究者ですが、大学退官後は物理だけでなくシンギュラリティ問題：人工知能が人間の知能を超える特異点（シンギュラリティ）で、著作、講演など積極的に発言されています。先生のご紹介、関連記事はネットでもたくさんありますが、Wikipediaにも載っていますのでご覧ください。なお、先生は京都からZoomでお話をされる予定です。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%BE%E7%94%B0%E5%8D%93%E4%B9%9F>

## 事務局だより

### 1. 会員動向（2020年8月1日現在）

退会者 米木 達男氏（湘南）

湘南の米木達男さんが7月4日享年90歳で逝去されました。ジャオ農園初代農園長を務められた他「ジャオ湘南賛歌」の作詞を担当され、25年に亘ってジャオクラブの活動を支えてくださいました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

湘南	県央	ベイサイド	多摩・田園	計
38	37	32	28	135（Eグループ会員：119名）

### 2. 運営委員会報告

8月には運営委員会は開催されませんでした。

次回の運営委員会は9月27日（日）10時～12時、オンラインで開催する予定です。

なお、当分の間、健康体操とジャオサロン後の懇親会は行いません。

## 2020年8月 じゃおサロン報告

8月29日（土）15：00から日下部晃志氏（松下政経塾 研修局人材開発部 担当部長/第25期卒業生）をお招きして「日本の安全と私たちの安心 ～治に居て乱を忘れず～」というテーマで、じゃおクラブとしては初めてオンラインでのじゃおサロンを開催いたしました。

講演は、日下部氏の経歴の紹介から始まりました。防衛大学を卒業後に自衛隊に入隊して、20歳代半ばで経験した東ティモールのPKO活動において、新しい国が独立するのを見て国家のあり方について深く考えるようになり、国家のあるべき姿は何か、今の日本はこのままで良いのかという問題意識が芽生えて、松下政経塾に入塾し自身の見識を深めてきたということが印象的でした。



講演の本論は、現状の確認、現状を導いた理由、その対策としての処方箋という3部構成でした。

まず、現状の確認ですが、「日本は平和ですか？」という問いかけから始まりました。調査によると、多くの日本人は「世界は平和ではないが、日本は平和である」と感じているという結果ですが、果たして本当にそうなのであろうか？我々は、地震や毎年の豪雨災害、今般のコロナ禍等の自然災害に加えて、東アジアを取り巻く安全保障の問題に直面しております。特に東アジアの各国（中国・韓国・北朝鮮）は、日本の自衛隊組織と比べて5～10倍の軍事力を保有している世界有数の軍事大国です。ドイツの保険会社の査定によると、このようなリスクに囲まれている日本の相対的リスク度は、欧米諸国の10倍近くも高いと評価されており、日本は多くのリスク要因に囲まれた国であるという現状にもかかわらず、国民の多くは平和であり安全であると考えているという、このギャップを我々は認識すべき必要があるとのことでした。

なぜそのようなギャップが生じるかという点、安全と安心との関係において、多くの人は「安全だから安心する」と思っているが、実際は「安心したいから安全だと思い込む」という、心の「防御装置」としての「正常性バイアス」を人類が進化の過程で備えてしまっているからとのこと。さらに我々は「同化性バイアス＝異常を日常の背景の中に埋没させる」と「同調性バイアス＝他者との協調・横並び意識」も持ち合わせており、迫りくる災害を過少に判断したり、周囲が逃げないから自分も逃げないという災害時に手遅れになるような判断をしてしまうというバイアスをも持ちあわせているとのこと。

このような観点を踏まえて今の日本社会を見ると、よく言われる言葉ですが「平和ボケや（米軍への）依存ボケ」という状態にあるのではないかと指摘でした。

この状況を正す処方箋としては、つぎの3点が必要との結論でした。

### 1. 「病識」を持つ＝現実を認識すること。

まずは、リスクの高い状況に直面しているということを認識することが必要です。例えば、災害時の避難は「空振り」もあるかもしれないが「見逃し」より良いという認識が必要とのこと。

### 2. 自分を失わないため＝確固たる個を持つ

己（自国の来歴）を知り、「現実」を知る（知ろうとする努力をする）こと。

### 3. 意識だけでは避けられない危機＝現実的な対策が必要

日本全体の対策として、四つの「防」（防犯・防疫・防災・防衛）のために、国としての投資（インフラ整備）が必要のみならず、直面している「経済の危機＝デフレ」を何とかしなければいけないので、需要喚起策が必要とのことでした。

（湘南 大出 佳和 記）

## 新型コロナ感染防止期間中の『じゃおグリークラブ』

湘南 柏瀬 安史

じゃおグリークラブ（以下“グリー”という。）は、毎年4月と11月に大ホールで行われる合同演奏会出演を励みに内村寛治、由生子ご夫妻のご指導のもと、月2回練習を行っております。特に11月は、神奈川県合唱連盟主催の“ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバル”が横浜みなとみらい大ホールであり、グリーは毎年これに参加しています。

研鑽のかいもあって昨年まで3年連続『エフォル賞』を受賞しています。今年も4連覇を目指して演奏曲を決め、練習に力を入れ始めたところでしたが新型コロナウイルス感染の流行が始まり、2月中旬以降グリーの活動を中止せざるを得なくなってしまいました。

その後も練習拠点の藤沢市の公民館が3月から使用禁止、国の非常事態宣言が4月に発令されましたが、第1波の流行が収束したと判断されたようで、5月末には宣言が解除されました。

これを受けて、公民館の利用禁止も6月16日以降解除されるということになり、やっとグリーの活動が再開できるかと期待しました。しかし、その後の通達で大声を出し3密を避けられないコーラスなどは、感染防止期間終了までは使用を遠慮せよということになりました。

なお、この間に4月と11月に開催予定の合同演奏会も今年の開催を断念するとの知らせが届き残念な結果の連鎖となってしまいました。

第2波、3波の流行の可能性がある中、ワクチンや治療薬の確立にはまだまだ相当な期間を要することが考えられ、感染防止措置が確立できてコーラスができるようになるまでには、最悪年単位の期間を考えざるを得ないようです。

グリーが発足して約8年、盛り上がっているメンバーの気運を削がないような活動の仕方がないものかを内村先生にご相談したところ。先生から実技の裏には理論があるこの際勉強してはいかが、ということで、勉強のための資料と宿題を定期的を送って下さるとのご提案をいただきました。

このご提案について、16人のメンバー全員と相談したところ賛同を得たので、早速7月に入門編から開始して頂くことになりました。1回目の宿題は、半世紀以上前の高校受験のためのアチーブメントテストの中の音楽の勉強を思い出すような懐かしい内容でした。

グリーの皆さん！コーラスの練習とその後の反省会での楽しい語らいなど、待ち遠しいですね。

気長に頑張りましょう！

### 【1回目の宿題と添削例を下に示します】

#### ねんしゅうもんだい(11)

(1) じゅう線を書いて4小節にすぎりましょう。

(2) 拍子記号をみて ( ) の中に音符を1つ書きましょう。

(3) 拍子記号をみて ( ) の中に休符を1つ書きましょう。

---

---

## 気になること

県央 片山 隆行

コロナ禍で蟄居生活が続いていると、従来少し気になっていたことが増幅されて大いに気になる様になって来ました。

### \*歩きスマホ：

私と衝突寸前に立ち止まって、悪びれもせず平然としている。何とも腹立たしい。喫煙禁止区域での喫煙者に科料を科す自治体が増えています。公道での歩きスマホにも罰金を科す法制化が望まれます。

### \*軽自動車 ≠ 軽車両：

友人が「一方通行・軽車両を除く」の標識がある道路を運転していると、前方からおばさんが軽自動車を運転してやって来た。友人が「ここは一方通行だよ」と言うと、おばさんが「これは軽車両だからいいの!」。?!?。“軽自動車”は最も小さい規格の“自動車”です(道路運送車両法)、“軽車両”ではありません。混同している人がいるようです。“軽車両”とは自転車、馬車、牛車、リヤカーです。“軽車両”にも自動車と同様に交通規制が定められており、違反には交通切符が交付されます。自転車を降りて押して歩けば“歩行者”です。

### \*自転車：

#### ・横断歩道通行：

自転車通行のほぼ全員が横断歩道を乗ったまま通行しています。違反です。自転車は“車両”ですから車道部分を通行しなければなりません。横断歩道は歩行者の為のもので、ここを自転車で通行する場合は降りて押さねばなりません。「いちいち降りていられるか!」と言っている方、“3月以下の懲役または5万円以下の罰金”が待っています(道路交通法)。

例外として、横断歩道の横に自転車通行帯(2本線の間自転車マーク)がある場合は乗ったまま自転車通行帯を通行できます。

#### ・逆走：

最近車道の左端を走行する自転車が増えてきました。ところがここを自転車で逆走する人を時々見かけます。自転車は車両ですから逆走は言語道断です。また、「自転車を除く」の補助標識がない一方通行を逆走する自転車をよく見かけます。当然違反です。逆走は3月以下の懲役または5万円以下の罰金です。

### \*電車の座席：

座席ががら空きでない電車で、子供、生徒が座っているのを多く見かけます。子供、通学生徒は割引運賃で乗っている事も考慮して、がら空きでない場合は座るのを遠慮していただきたい。また、優先席に若者や生徒が座っているのもよく見かけます。教員、親はどういう教育、躰をしているのでしょうか。もっとも、今の教員、親を育てたのは我々の年代です、因果応報ですかね……。

と、暇にまかせて埒もないことを考えていますが、一日も早くコロナが収束して以前のような楽しい日々が来ることを願っている今日この頃です。

---

---

## はじめまして

ベイスайд 各務 清

今年四月に「じゃおクラブ」に入会しました。昨年九月に「四木会」に入会し、毎月第三月曜日の句会に参加して、一年近くになります。

四木会の会員の方々は、皆「じゃおクラブ」に入会していると伺い、入会を薦められて入りました。新型コロナ感染第二波の影響を受けて、会員の皆様にお会いできず、大変残念に思っています。

戦前生まれです

- ・昭和 13 年 10 月横浜生まれ
- ・縁故疎開で、岐阜市国民小学校に入学、岐阜市内空襲で武儀郡小金田村小学校に転校、昭和 26 年に横浜市立子安小学校に転校
- ・2016 年 8 月から学生時代の「山紫会」に四木会主宰廣崎さんを講師に迎えて俳句の勉強開始、2019 年 8 月同会俳句勉強会解散
- ・2019 年 9 月、四木会に入会

以上

## 東京江東区有明の高層マンションから観える景色と感想

ベイスайд 風間 紘二

訳あって緑多い横浜緑園都市の戸建てから「水の都」と命名されている東京江東区有明に引っ越したのが、コロナ禍真っ盛りの今年 3 月末であった。

喜寿を迎えた歳で、引っ越しをする大馬鹿が居たことはさておいて、このマンション・ベランダからの眺望を折角の機会なので、会員の皆様にご披歴致します。

先ず、ベランダからの眺望の全体図は、マンション南側の樹木林の外側は、高速道路と一般道路合わせて 14 本の車線が包含されている巨大な道路が横切っており、騒音もかなり有ります。

その奥には、「東京広域臨海防災公園」が、有明がん研病院とセットになって広がっています。およそ後樂園ドームの 5 倍程度の広さです。その多くは手入れの必要の無い芝生と樹木・花そして災害緊急時の物資や病人を運ぶ為のヘリコプター発着コンクリート基地です。普段は、少年たちのスケボーに格好の場所です。小生もしょっちゅう散歩しています。

その奥にはゲートブリッジを擁した東京湾が広がり、運搬船の行き交いが観られます。

上空は羽田空港の離発着の通路に当たっているせいか、常時数分おきに飛行機の銀影が見えます。(音は殆ど聞こえません)

公園の右側には「ゆりかもめ」の有明駅と JR りんかい線の「国際展示場」駅が見え、6 両編成のモノレールの運行が頻繁に見えます。その奥にはビッグサイトの屋根とホテル 2 棟、高層ビル群が見えます。更にその奥はお台場に向かうプロムナードです。

このように、陸は高速道路の車とモノレール、海は運搬貨物船、空は飛行機と、ベランダから覗く景色は、移動体が満載で飽きることが有りません。

1LDK の超狭い部屋では、常時 3 密状態であり、しょっちゅう息抜きにベランダに出て景色を眺めて過ごすのが日常です。

7 月頃から、公園の一角で、バーベキューの為の簡易テントが張り巡らされ、多い時は 30 棟近く林立

します。食材から、バーベキューに必要な機材は全て揃っており、家族連れで大賑わいです。小生も見物に行ったところ、中高年は1組も居なくて申し込むのは止めました。又土日は、ラグーマンやサッカー好きが練習をしております。

コロナ禍で外出が思うようにならない今日は、外の景色を眺めながら朝食や読書に勤しんでおります。

## そらちゃん日記

多摩・田園 小俣 孝雄

生後3週間のセキセイインコを飼い始めました。

6月6日：「コロナ」の影響で夫婦共に行き場を失い、無心の毎日を送っていたさなか、娘より母の日プレゼントにブルーの綺麗な羽根のセキセイインコをいただく。青空のような爽やかな身体から「そらちゃん」と名前を付けた。

6月7日：昨日から餌を食べた様子がない、水も飲んでいないのか、午前中から「渡し棒」に掴まり微動だにしない。テレビで音楽が鳴り出したら、同調して「ピューピュー」と綺麗な鳴き声には驚いた。手で胸などをさすっても嫌がらなかった。

6月8日：夕食後「そら」を食堂に連れてきて、指に止ませながら籠の外に出したら、突然羽ばたき、部屋中を飛び回り、着地。床の上では行き場を失いチョロチョロ横歩きの様子には思わず笑ってしまった。



以下、実況を交えて「飼い主」と「インコ」葛藤をお伝えいたします。

6月11日：籠の入り口を開け放ししておいたが、用心深いのかなかなか出てこない。

6月14日：外に出してやろうと籠の中に手を入れると逃げ回り噛みつき、かわいくない。

6月15日：毎朝籠を開けっ放しにするようにしたら、早速外に出て籠の上に登り、裏山から聞こえる野鳥の鳴き声に反応してピーピーとさえずり始めた。

6月18日：庭で籠を掃除していたら見慣れたインコが芝生の上を歩いているではないか？「脱走！！」首のタオルを投げつけ捕獲大騒動。

6月20日～7月7日毎日のパターン：①鳥かごの上によじ登り一飛び出し、床に着陸一、チョロチョロ横歩き一網戸にしがみつき一小屋に戻る一その後しばらくは動かず（昼寝）。②発声練習 {そらちゃんおはよう！} だけど聞く耳持たず。メス？はダメらしい。

7月17日：手乗りの訓練一大好物のトウモロコシで手のひらに誘導一大成功！！

その後、可愛がりすぎたためか、最近威張り始め「飼い主」を無視した行動に出る。美味しくないものは外に放り出し、二人とも家を空けると怒ってふて腐れた態度を現わす。これは人間社会にとっても同じか？でもこのような事態に心を癒してくれた「そらちゃん」。ありがとう！

### じゃおグラファーズ オンライン品評会

8月11日、今回も品評会がオンラインで行われました。東京地区でも新型コロナの感染者が増加し、それと共に重症、および死亡者の数も増えています。高齢者である我々は感染しないよう十分配慮する必要がありますと感じています。というわけでオルタ館の会議室での品評会は当面見送らざるを得なくなりました。

前回まではLINEでの会話とOneDrive上の作品で品評をしてきました。今回はLINEに代わりZoomで行いました。見た目ではLINEとZoomの違いはあまりありませんでしたが、便利と思われる機能を比べるとやはりZoomということになるのでしょうか。

うれしいことがありました。ひとつはしばらく参加できなかったメンバーが作品の提出とともに品評会に参加されたこと。数か月の間、顔を合わせることがなかったので久しぶりに近況などを会話することができました。もうひとつはグラファーズメンバーのなかでも一番ご高齢で一年以上も参加できなかったメンバーがこのオンライン品評会に参加されたことです。初めてのZoomで事前に何回も接続テストを繰り返しました。初めてのWebカメラ、初めてのマイクとスピーカーで、初めてづくしのZoom会議に参加されることができたのです。慣れないパソコンの操作に積極的にチャレンジされた姿勢には心より感服いたしました。

本編の品評作品は今までの撮りためたものでおこないました。毎月の撮影会が実施できない今は仕方のないこととあきらめています。それでも過去の写真を探してみると結構面白いものが見つかります。当時は「なんだこんなものか」と思っていた写真が不思議にもそれなりに輝いて見えるのです。ただいつどこで撮ったのかすぐには思い出せないことがあります。高齢者の危険な兆候でしょう。あれこれ調べてやっと思い出せたのは半分くらいでしょうか。そんなこんなでオンライン品評会がしばらくは続くのでしょうかね。

まあそういったまじめな品評会が終わると恒例のオンライン飲み会が始まります。これもまたなかなかいいものです。おつまみの取り合いがないのは残念なのですが。

今月のグラファーズの作品をホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<https://jaoclub.com/tamaden/gallery/>



冠

(多摩・田園 千葉 敏行 記・写真)